



平成 23 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社  
代表者名 代表取締役社長 村田 稔  
(コード番号: 1606 東証第一部)  
問合せ先 経営企画室担当室長 谷内正彦  
(TEL. 03-5847-5862)

### 「HAKURYU-5」の新規掘削工事受注に伴う連結売上高への影響について

当社の持分法適用関連会社 UMW JDC Drilling Sdn. Bhd. (以下 UJD 社) (注 1) は、当社の連結子会社 Hakuryu 5, Inc. (注 2) が所有するセミサブマーシブル型リグ「HAKURYU-5」について、以下の通り、PETRONAS Carigali Sdn. Bhd. と掘削工事契約を締結することに合意しました。

その結果、当該契約期間を通じ連結売上高が増加する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

#### 1. 掘削工事契約の概要

- (1) 契約先 : PETRONAS Carigali Sdn. Bhd.
- (2) 受注者 : UJD 社 (注 3)
- (3) 操業海域 : マレーシア沖
- (4) 契約期間 : ファーム 1 年 + オプション 1 年
- (5) 作業開始予定時期 : 現ミャンマー沖での工事が終了次第、遅滞なく操業海域へ動員の予定
- (6) 作業料金建て : 日割作業料率方式
- (7) 契約締結予定 : 平成 23 年 8 月
- (8) 受注金額(見込み) : 約 7,200 万 US ドル (ファーム 1 年分のみ)

#### 2. 業績に与える影響

本掘削工事契約を締結するに当たり、UJD 社は Hakuryu 5, Inc. より「HAKURYU-5」を備船するとともに、当社は UJD 社に対し要員派遣、技術支援等のサービスを提供いたします。

UJD 社の受注金額(見込み) 約 7,200 万 US ドルから当社が提供する要員派遣、技術支援等のサービスの対価が当社に支払われるとともに、「HAKURYU-5」の備船料が Hakuryu 5, Inc. に支払われ、それぞれ連結売上高に計上されます。

本契約の締結が当期連結業績に与える影響に関しては現在精査中であり、詳細判明次第、必要に応じて開示いたします。

(注 1) 受注者は当社 15% 出資の持分法適用関連会社(マレーシア法人)です。

(注 2) Hakuryu 5, Inc. は当社 100% 出資のリグ保有会社(パナマ法人)です。

(注 3) マレーシア国で石油開発会社から石油・天然ガス掘削工事を受注・操業する場合には PETRONAS が発行するライセンスを所有する必要があります。当社グループにおいては、UJD 社が当該ライセンスを取得・保持していることから、UJD 社を本契約当事者とするものです。

#### 【本開示資料ご利用にあたっての留意点】

本発表資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、種々のリスク、不確実性および前提・仮定を内包しております。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やそ

の類義語を用いたものには限定されません。

これらの情報は、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、これらのリスクや不確実性が顕在化しあるいは現実が前提・仮定と異なった場合、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えられますようお願いいたします。

また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。

実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- (1) 当社の事業領域を取り巻く環境、特に原油・天然ガス価格の動向、国営あるいは民間の石油開発会社による探鉱開発活動の動向ならびに同業者間の競争やリグの需給関係
- (2) 客先による工事発注のキャンセルや工事契約の早期解約
- (3) 事故、災害、不可抗力等による作業の中断や工事契約の早期終了
- (4) 造船所でのリグ設備の保全・増強工事等の工期遅延や工事費用の増加
- (5) 海外での事業展開に伴う現地での政治的・経済的要因、戦争・暴動・テロ等の社会的混乱、その他のカントリーリスクによる不利な影響
- (6) 為替レートや金利の変動
- (7) 公的規制の改訂、変更等および訴訟等の法的手続の結果

以上